

# 算数科 小学校 4年

## 単元名「三角形」

### 本時の流れ (第1時)

本時の目標

- 三角形を作り、辺の長さに着目して分類を考える。

本時のめあての把握

- ・三角形を作って、分類するという課題を把握する。

【めあて】

三角形を作って、仲間分けをしよう。

自力解決

- ・各自が三角形を作る。
- ・作った三角形をグループで集めて分類する。
  - 辺の長さが3本とも同じ三角形
  - 辺の長さが3本とも違う三角形
  - 辺の長さが2本同じ三角形

☆児童が視覚的に長さをとらえやすいように4色(長さ4種類)のストローを準備し、セロハンテープを使って各自に三角形を作らせ、辺の長さに着目した分類へと導く。

☆分類の仕方や理由をワークシートに記述させるようにする。

「活用」の力育成のために

分類した理由を書かせる。(ポイント①)

☆自分で考えた分類の仕方を分かりやすく説明できるように支援する。

☆自分で考えた分類と比較しながら、話し合わせ、長さによる分類方法を取り上げることを説明する。

☆三角形そのものの大小や向きでなく、辺の長さで分類することを確認させ、二等辺三角形、正三角形の用語の意味を児童自身に考えさせる。

集団解決

- ・分類した理由を発表する。
  - 色で仲間分けした。
  - 長さで仲間分けした。
  - 形で仲間分けした。
- ・辺の長さに着目した3つの分類の仕方を確認し、二等辺三角形と正三角形という名前を知る。

### 「活用」の力を育てるポイント

①分類したとき、何を「同じ」と見たかという観点を明確にワークシートに記述させることで考えを深めさせる。

②自分の分類の仕方を分かりやすく発表させたり、他の児童の分類の仕方との類似点を見つけて話し合わせたりする活動を通して、深めた考えを適切に説明する力を育てる。

③定義の理解を確かめるため、辺の長さに着目した弁別を予想させ、コンパスを使って実際に確かめさせる活動を通して学んだことを活用したり、目的に応じてコンパスを活用したりする力を付ける。

「活用」の力育成のために

理由を明確にさせて、話し合わせる。(ポイント②)

適応問題

- ・三角形を弁別する問題を解く。(教科書 P.4 の2の問題)

「活用」の力育成のために

個別指導をする。(ポイント③)

学習のまとめ

学びの振り返りを書く。